



みんな集まれ！！管内研開催します

今年のオホーツク管内の国際理解教育研究大会は、北見市常呂町の常呂小学校を会場として開催されます。みなさんふるってご参加ください。お待ちしております。

第24回オホーツク国際理解教育研究大会

研究主題

「自分と地球をつなぎ、未来を切り拓く児童・生徒の育成」



↑有路教諭

～世界を感じる地球の子どもをめざして～

開催日時	平成23年12月1日(木)
研究会場	北見市立常呂小学校
授業者	有路直人教諭
授業内容	JICA派遣経験を生かした授業です。派遣されていたセネガルの写真を使いながら3学年の授業を行います。(総合的な学習の時間)

詳しくは別紙にて



網走研修センター講座「国際理解教育」の様

平成23年7月13日(水)、網走研修センター講座「国際理解教育」が開催されました。今年は多くの方に参加していただきました。参加者の中には初任者の先生が多く、この講座を通して「国際理解教育」について興味を持ってもらうことができました。その後FLAPに入会された方もいたとのこと。本研究会にも是非たくさんの方に入会してもらいたいですね。



講座は富田指導主事による国際理解教育についてのお話、有路特別講師（常呂小）による「授業作りについて」、相馬教諭（美幌小）と長崎教諭（相内小）による演習という内容で進められました。セネガルの写真を見ながら国際理解教育を進めていくためのテーマ探しをし、その後、5時間程度の指導計画を立てました。楽しく交流ができたと思います。どんなテーマが見つかったかと言うと

- 「おもてなし」から「もったいない」へ
～おもてなしパーティーをしよう～
 - ようこそ、ぼくの国
 - 人とつながる 内面のたくましさ
 - 水ってステキ
 - セネガル もてなし企画
…などでした。
- 来年はみなさんもぜひ参加してみてください。



オホーツク国際理解教育研究会ホームページから

現在ベトナムのハノイにシニア派遣されている石橋先生から『ハノイ日本人学校通信』が定期的に送られてきており、随時ホームページにアップさせていただいています。他にも派遣時に寄せられた各国の様子が通信としてアップされていますので、その国の空気や教育の状況を感じてもらえればと思います。

また「在外教育施設派遣者名簿」が光成副会長により、年度ごとに整理されました。こちらも後日、詳細確認後にアップしておきますので、ぜひ日頃の国際理解教育にご活用ください。また、名簿に載っている先生方におかれましては、気持ちよくご協力くださいませ。



↑ ハノイ日本人学校での学芸会の様子より

海外への道

～海外日本人学校へその② 道面接編～

さて、前回では局面接合格までのお話でした。今回はstep 2の北海道面接です。局面接合格の知らせからほぼ半月後となる6月中旬、各管内から選考されたみなさんが、札幌に集合し面接を受けることになります。行きは特急オホーツクに乗って勉強しながらです。列車内ではずっと面接の問答集と、にらめっこしつつ、早くも緊張しながら札幌へ。

当日の面接会場は道庁近くの別館です。こちらも控え室に通された時、誰一人待っている人はいなく（その時たまたまだったのでしょうか）、寂しさと緊張感がMAX（おお、軽く吐き気が…）。少しずつ時間差にしてくれているので、待ち時間はほとんどありませんでした。

いよいよ面接へ。基本的には局面接と同じような内容での面接となりますが、その人によって、内容は少しずつ違います。自信を持ってしっかり受け答えをいたしましょう。きっと大丈夫。

面接が終わったら控え室に戻り、そのまま終了。何だかあっけない感じ。控え室には次に面接を受ける先生が待っておりました。「文科省でもお会いできるといいですね。」と目で挨拶しながら帰ってきました。

帰りの特急オホーツクは解放感満載。「ああ、終わったなあ。」という安心感と「あの時、こう答えればよかった。」という残念な気持ち、「結果はどうなんだろう。」という不安感が入り混じった複雑な心境で、1人反省会を開催しながらの復路でした。車内で生田原のごまアイスを食べる余裕さえ生まれません。（0°）／往路とは大違い。

結果の連絡が来るのは約1カ月後。それまでじりじりしながら待つこととなります（この時間がたまらなく嫌なものです）。7月20日頃、いい知らせを校長先生からいただいたら、さあいよいよ東京です。最後の関門の文部科学省面接（7月下旬）があります。道面接合格通知から1週間後??早い!!（°o°）もう少し早目に知らせてもらえないものかしら…。飛行機は大丈夫か?近くのホテルってどこですか?ばたばたしながらチケットの手配にとりかかります。まだまだ油断はできません。

…そして一生に一度行くことがあるかないかの（たぶんない）場所へ。超ドキドキしながら文部科学省の門をくぐります。緊張を持続させながら、こうして、また更に世界へ一歩近づきます。

次号に続く

編集後記

そろそろ学芸会ですね。もう準備もしっかりできていることでしょう。学芸会もひと段落したら、国際理解教育の授業をしてみませんか?子どもたちと楽しみながら学習を進めていきたいですね。そんな時は海外派遣者リストもご利用ください。もし、お時間があれば本研究会のホームページもご覧ください。よろしくお祈りします。<m()m>

<http://abakoku.jp/>

文責 情報部部長 北見相内小 教諭 長崎 祐紀

（おねがい）会費の納入はお済みでしょうか?3,000円です。

お問い合わせは・・・ 端野中学校小野寺哲浩教頭先生（TEL0157-56-2023）へ。